

令和元年度第1回鹿児島空港周辺地域環境整備委員会 会議要旨

開催日時	令和元年5月24日(金) 14:00~15:35		
開催場所	溝辺総合支所 第1・2会議室		
出席委員	有馬委員長、今島副委員長、今吉委員、岩元義明委員、末永委員、鎌田委員、山下委員、木村委員、内村委員、東郷委員、重森委員、徳丸委員、小田氏(土井委員代理)、万膳委員、米丸委員、林委員、窪徳委員		
事務局	出口地域政策課長、岡留主幹、甲斐地域政策グループ主査、齋藤溝辺総合支所地域振興課長、西溜主幹、藤本地域振興・教育グループサブリーダー		
関係者	鹿児島空港事務所 原総務課長、代田総務課長補佐 県交通政策課 三角航空対策係長、黒葛航空対策係主事		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	なし
会次第 <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員委嘱 3. 委員長選出 4. 委員長あいさつ 5. 委員会の運営について 6. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 鹿児島空港周辺地域環境整備基金の運用状況について 2) 鹿児島空港周辺地域環境整備基金の活用について 7. その他 8. 閉会 			
審議結果等の概要 [長]: 委員長 [委]: 委員 [事]: 事務局 [国]: 空港事務所 [県]: 交通政策課			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 ~ 4. 委員長あいさつ (省略) 5. 委員会の運営について <ul style="list-style-type: none"> [長] 会議の公開について協議する。 霧島市附属機関等の会議の公開に関する指針によると、会議は原則公開とし、会議結果についてはホームページ等に公開することになっている。本日の委員会は原則に則り公開と考えている。 [委] 異議なし。 [長] それでは、本日の委員会は霧島市附属機関等の会議の公開に関する指針に基づき公開とし、併せて会議結果については後日ホームページで公開することに決定する。 6. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 鹿児島空港周辺地域環境整備基金の運用状況について <ul style="list-style-type: none"> [事] 資料P2~4に基づき基金事業及び委員会について説明の後、資料P5~12に基づき、「鹿児島空港周辺地域環境整備基金事業実績」について説明。要点は次のとおり。 ・平成4年の運用時間が1時間延長された際に、旧溝辺町と旧隼人町に基金が設置されてい 			

る。

- ・現在、9～10ページの「鹿児島空港周辺地域環境整備事業計画」に記載している事業を実施している。
- ・現在行っている空調機更新事業は、S57.3.30の第1種区域告示日（溝辺はH4.10.31が基準日）、その時に住んでおられた方・住宅を対象としている。その後新たに転入してこられた方は対象にならない。
- ・12ページ地図の青色が基金区域の線。
- ・委員会は、当時、基本的には基金による環境整備事業について協議する機関として設置されたが、現在は、このほか、関係機関との情報共有を図ることも重要視し、国（空港事務所）や県の方にも同席いただき、情報提供などしていただいている。
- ・基金事業として、平成30年度は、溝辺地区では、空調機助成（52件）とNHKテレビ受信料助成（348件）を実施し、隼人地区では、空調機助成（2件）を実施。
- ・現在の基金残高は3億824万7,676円（溝辺地区2億7,987万7,865円、隼人地区2,836万9,811円）。

長 今の説明に対して委員から質問はないか。

委 平成4年に補助金が、それぞれ溝辺・隼人に交付されている。平成29年の延長に係るのは、公民館の経費に充てられたりしているが、関係を説明して欲しい。

県 平成29年の時間延長に伴い県から基金の原資として補助金を交付した。その基金から支出された交付金は、公民館での地域活性化に繋がるような事業に使っていただくものとして交付しており、平成4年時の基金事業（今、実績の説明があった空調機更新助成やNHK受信料助成）とは別のもの。

委 8ページのNHKテレビ受信料助成348件は、毎年、大体同じか。

事 区域、対象住宅が決まっており、対象者はほぼ変わらない。毎年、350件前後の方が申請している。

2) 鹿児島空港周辺地域環境整備基金の活用について

事 資料P13～15に基づき、3委員（公民館）から提出のあった基金の活用提案について説明。要点は次のとおり。

- ・13ページは、基金条例に則り、基金残高を適切に処分することを求め、基本的にはこれまでの対象区域や対象事業を守り継続を要望するもの。
- ・14ページは、航空機燃料譲与税を活用した事業の推進についての提案。本委員会の所掌ではないが、平成29年度実績資料を16ページに添付した。
- ・15ページは5点の提案を掲げている。「陵南小学校の教室不足の解消」については、要因が児童数の増加であり、基金事業の対象とするには慎重な検討が求められると考える。
- ・「プレハブ教室の騒音対策」については、検討の余地があると考え。
- ・「陵南小学校のシャワー室設置」「横断歩道の白線の補修」「区画整理地区の公園の整備」「通学路歩道の設置」については、児童・生徒の安心・安全を高める非常に大事な項目であるが、直接的には航空機の騒音対策に繋がるものではないので、慎重な検討が求められると考える。

長 事務局の説明に、補足説明はないか。

委 私の希望としては、新しく溝辺・隼人に入ってくる人達も対象にして欲しい。

委 基金の対象事業を住民の人達は理解していない。今の騒音対策事業に限らず、何にでもこ

の基金は使えるという考えを持っている。

【委】 航空機燃料譲与税は、空港が在ることによる影響に対するものではないのか。

【事】 航空機燃料譲与税は、国が空港の所在する市町村に対して国税である航空機燃料税の一部を財源として交付するもの。その使い道については、航空機燃料譲与税法で決められている。平成 29 年度は、小学校や公民館等の空調機関係、馬立～北原線道路改良工事、過去に行った道路の起債（借金）の償還、溝辺分遣所の救急車、隼人西光寺部の消防詰所建替等に活用されている。法令に基づき、空港対策に関連する事業に充てている。

【委】 航空機燃料譲与税は、地域の航空機以外のものには使えないのか。

【長】 まず、基金について、防音対策以外の地域活性化に使えないのかということであるが、基金には限りがあり、クーラーも修理・買換が必要になる。対象を広げれば今の享受者の補助額が少なくなる可能性もある。広げる魅力と課題を慎重に、試算をして考える必要がある。

【委】 試算は早急に提示して欲しい。

【長】 可能な限り早い時期にできるよう、状況を見ながら対応したい。

【委】 セスナ、ヘリコプターが低空で結構飛ぶ。うるさいので飛行ルートを変えて欲しい。

【事】 平成 29 年の国の騒音調査実施にあたって、本委員会で調査希望エリアを提示した。小型機がうるさいというお話もお聞きするし、騒音発生回数も多いことは認識している。国には、運航者、パイロットへの指導など、お願いしている。

【国】 ヘリコプター、セスナ機の騒音については、空港事務所にも相談が寄せられている。小型機を含めた運航者を集め、安全運航の講習会を開き、騒音軽減に関する注意喚起も行っている。

【委】 夜のエンジンテストがうるさい。夜の時間帯にしないといけないのか。

【国】 防音壁の検討・設置に向け、県・市の要望を聞き、32 年度も要望を行う予定。夜間のエンジンテストについては対策を検討したい。

【委】 エンジンテストは夜間にやらなければいけないのか。日中の時間帯への変更はできないのか。

【国】 後日回答したい。

【委】 防音壁の要望を上げているのか。

【国】 令和 2 年度（予算）も、継続要望している。

【長】 エンジンテストの軽減、プラストフェンスの設置、セスナ・ヘリコプターの住宅地迂回などについては、市長が直接大阪航空局に行き、要望している。現中重市長も空港事務所に、出向いてお願いをしている。

【委】 昼間飛んでいるセスナが、何回も回ってうるさい。訓練か何かしているのか。

【国】 パイロット養成の操縦訓練で、セスナ機を使うことが多い。最近、増加傾向にある。

【長】 LCC の航空会社も増え、一方、パイロット不足もある。鹿児島空港の飛行機会社に委託し、養成しているとのこと。鹿児島空港も過密になり佐賀空港に訓練が移ったりしている、ということも聞いている。

【委】 来年の国体に向けて目新しいこと、白線を引くとか、道路整備とかないか。

【長】 国体に関して、空港関係でハード事業としては、新たな投資は聞いていない。白線については、空港云々ではなく必要な対応はするべき。関係課と連携を取ってまいりたい。体育施設の改修等は随時行っている。

【委】 航空機燃料譲与税で、空港公園に飛行機に関する備品等整備できないか。

【長】 霧島市緑の基本計画に、今後の方向性などプランが書かれている。

- 【委】 せっかく空港公園という名称なので、もう少し整備をして欲しい。
- 【委】 去年述べた第二地下道の進捗はどうなっているか。
- 【事】 トンネル自体の幅を広げることはできないので、歩道を作れば車道が狭くなるというのがある。中央線をなくしてしまうのが良いのか、歩道とはっきり分かるようカラーリングなどの対策をとった方が良いのか、地域の要望として取り纏めのご意見を聞いて、取り組んでいきたいとのことであった。
- 【委】 意見が出たら、「市（県・航空局）はどうしている」という回答書を、次の会議から提出して欲しい。公民館長は地域から聞かれる。
- 【長】 公民館長さん方が伝えやすい方法を検討したい。
- 【委】 5年に付けた空調機は25年経っていることになる。こんな長い期間使うものなのか。
- 【事】 空調機の事業は、設置してから10年が経ち、故障している場合は更新ができる。
- 【委】 新しいものを買う時に何%か補助するということか。
- 【事】 上限はあるが、設置費用の95%が補助で、住民の方の負担は5%で済む。
- 【委】 案内はしているのか。知らない人もいる。
- 【事】 溝辺では一昨年通知した。
- 【長】 せっかくある事業なので、お知らせについては検討したい。
- 【事】 対象者を広げる意見があったが、溝辺ではどんどん住宅が建っている。基金が足りるのかの心配も出てくるので、試算をしながら慎重に考える必要がある。
- 【長】 試算の対象は、将来までとなれば、区画整理事業の空き地も全て考えなくてはならないし、もし令和元年で区切れれば、2年の人は対象ではないことになるが良いか、あらゆる想定の実算が必要になる。それと、例えば放課後児童クラブの事業に基金を使うというご意見、確かに言われるとそうであるが、別にも補助事業があるので、そういうものを活用して、基金はあくまでも、この設置目的とする本来の受益者に使える形を残すことが基本的な理念と考える。開港以来、県・市の発展に一番難儀をいただいている皆様方、あるいは未来の皆様方に、しっかり残すことも大事なことと思っている。
- 【長】 今日いただいたご意見については、関係部局、関係機関と協議し、見える形でご回答、考え方を示したいと考える。

7. その他

- 【県】 騒音・環境対策の取組経過、鹿児島空港のあり方検討委員会中間とりまとめ、航空路線の状況について、資料を交えて説明。
- ・エンジンテストによる騒音については、市と歩調を合わせ、国に防音壁やブラストフェンスの整備の要望を行っているところ。
 - ・エンジンテストの回数については、毎年減少傾向にあると聞いている。
 - ・県・国においては、新型機材導入に対する支援を実施しており、静音性の向上が期待できることから、エンジンテスト時や飛行騒音の低減に繋がると考えている。
 - ・引き続き、騒音低減については、航空会社等と協議を継続してまいりたい。
 - ・国道504号線の4車線化については、令和2年度実施予定の交通量調査（5年に1度実施）の結果を踏まえて検討してまいりたい。
 - ・県では、概ね10年後を見据えた「鹿児島空港将来ビジョン」を策定しているところ。
 - ・ビジョンの策定に当たり、行政、経済界、空港関係者、有識者等で構成する「鹿児島空港のあり方検討委員会」を設置し、検討を進めている。

- ・これまでの検討資料等は、県ホームページにも掲載している。
- ・「鹿児島空港の目指すべき将来像」について、「鹿児島空港の機能強化に求められる視点」「鹿児島空港の目標」を設定した。これを踏まえ、年内を目途にビジョンを策定する予定。
- ・夏以降にパブリックコメントを実施する予定としている。実施にあたっては、県ホームページ、公民館長等を通じて住民の皆様へお知らせしたい。
- ・運用時間延長時間帯におけるダイヤ設定状況は、7時半までの早朝時間帯はJACによる奄美便、沖永良部便が運航。21時以降は、日本航空による羽田便、ソラシドによる沖縄便が運航。
- ・国際線の状況については、中国東方航空による上海線が、7月1日～9月30日の期間で週1便、臨時便が運航され、月・水・土の週3便となる。香港エクスプレス航空による香港線が、8月6日～10月26日の期間で週1便の増、月・火・水・金・土・日の週6便となり、香港線は香港航空と併せて週13便となる。エアプサンによる釜山チャーター便が、5月25日～6月8日の期間で、全6往復運航される。

長 委員から質問はないか。

委 パブリックコメントとは何か。

県 意見の公募である。県のホームページや出先機関など、いろいろな場所で公募する。

○その他

委 基金の対象を広げる意見もある。長期的な見方から、基金の上乗せの検討はあるか。

事 現在、基金の積み増しは考えていない。

委 対象者を増やせば人口増にも繋がるのではないかと。枠組みを広げてもらいたい。

長 どれぐらいのお金が必要か試算を行うので、またご意見をいただきたい。

8. 閉会

事 以上で閉会する。

会議資料	<p>【配付資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和元年度第1回鹿児島空港周辺地域環境整備委員会 資料 ○鹿児島空港のあり方検討委員会 中間とりまとめ、全体スケジュール ○鹿児島空港における航空路線の状況について
------	--